

みんな で 生きる

No.462
2019 6・7

MLC
JOCS 医療を通じて、愛を世界へ。
公益社団法人
日本キリスト教海外医療協力会
JAPAN OVERSEAS CHRISTIAN MEDICAL COOPERATIVE SERVICE

1972年4月25日第三種郵便物認可 通巻462号
2019年6月10日(隔月10日発行)
年次報告書同封のため、今号は簡易版としています。

バングラデシュ・ラルシュマイメンシンのワークショップで
刺しゅうをするスリティさん(撮影 事務局・松浦由佳子)



共に生かされている一日を

会長 畑野 研太郎

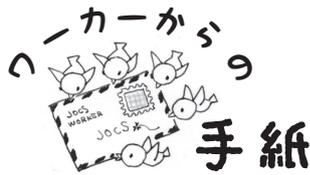
毎朝、出会う顔がある。鏡に映る自分の顔である。理屈っぽく言えば、その顔は左右が反転している。他の人が見る私の顔とは違うものであるけれども、私にとっては最も見慣れた顔に違いない。寝ぼけた顔の時、疲れた顔の時、ときには朝から生気に溢れていることもある。そしてしばしば考える。自分とは何者なのか。なぜここにいるのだろうか。

「40才を過ぎたら自分の顔に責任がある」と言ったのはリンカーンだったとか、とすれば、私はもうすでにその年齢は遙かに過ぎてしまった。この顔を形作った人生の歩みについて想いをはせる。様々な出来事、多くの人と出会ってきた。そして、その時々に応じて道を選んできた。いかに多くの分かれ道を通り過ぎたことか。その決定をしたのは、その時の自分である。そしてその決定には多くの理由が考えられる。時代の空気のようなものもある。両親や祖父母や、それ以前にまでさかのぼる歴史の中にも原因はある。そう考えると、必ずしも自分の決定とばかりは言えなくなってくる。

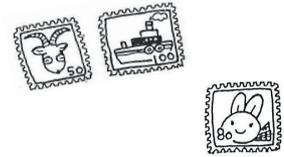
いったい自分は、この鏡の中にどういった自分を見たかと思っているのだろうか。

自分のことを自分以上に知っている者はいない。確かにそうも思える。でも本当にそうなのか。いまの自分を形作ってきた歩みを考えると、導かれていることを意識せざるを得ない。いまこの瞬間も導きのなかにあると思える。

鏡の中にどういった自分を見たいのか。生かされている自分、すべての人と自然と、「共に生かされている」自分である。今日もそうした日の一日としようと思う。導きを祈り求めつつ。



海外に派遣する保健医療従事者を、
JOCSでは「ワーカー」と呼んでいます。
現在活動している2名のワーカーから、
支援者の皆様への手紙が届きました。



岩本 直美 (バングラデシュ派遣、看護師)

皆様、こんにちは！バングラデシュのラルシュマイメンシンで暮らす岩本直美です。ラルシュは知的ハンディのある人たちと共に暮らすコミュニティです。21人の家族のいないメンバーたち、そして



ラルシュマイメンシンのメンバーのラッセルさん(右)と岩本ワーカー

彼らの生活を支援する若者たちと共に暮らして16年になります。当初私たちを笑い者扱いしていた近隣の人たちが、今は良き隣人となりました。単純素朴に愛することを教えてくれる知的ハンディのあるメンバーたちの存在が、地域の人々の心を変容させたのです。

イスラム教徒、ヒンドウ教徒とキリスト者が共に祈り支えあい、壊れやすいのちに導かれ、共に生きることを日々選び取り、今日まで歩んできました。この平和のミッションを明日も生きることができるよう、皆様のお祈りとご支援をお願い申し上げます。

あめみや
雨宮 春子 (タンザニア派遣、助産師)

タンザニア・タボラ州に派遣していただいております雨宮春子と申します。

日本聖公会北海道教区の信徒として歩む中で、小学生のころから海外での医療協力に携わりたいと願い医療職を志し、看護師・助産師として経験を積んできました。皆様のご支援のもと、現在ワーカーとしてこの地に立てていることに感謝いたします。

ダルエスサラームでの3カ月間のスワヒリ語研修を終えて、4月からタボラ州の病院で医療研修中です。JOCSの奨学金で学んだ現地の人々から、タンザニアでの医療を学ばせていただいております。

「JOCSの支えがなければ、今の自分はいない」と



タボラ州・ンダラでのイースター礼拝に出席した方々と、雨宮ワーカー(後列左から3人目)

話し、生き生きと妊産婦さんたちと関わる元奨学生と、共に働くことができることに喜びを感じつつ、一歩ずつ歩んでおります。タボラより感謝を込めて。

JOCS関西事務局職員を募集します

大阪・梅田にあるJOCS関西事務局の責任者となる職員1名を募集します。

応募条件は、3年以上の勤務経験、クリスチャンまたはキリスト教に理解のあること、パソコンを操ること、アルバイト・ボランティア・外部関係者などと円滑に業務を進める調整能力とコミュニケーション能力があること、日商簿記検定3級保有が望ましい、などです。詳細はJOCSのホームページに掲載の募集要項をご覧ください。

2019年6月28日(金) 応募締切、9月1日勤務開始希望。

お問い合わせは関西事務局・渋谷まで。

電話：06-6359-7277、E-mail：shibue@jocs.or.jp

国際保健医療勉強会のご案内



今年度は一人ひとりに寄り添う障がい児・者支援の事例をテーマとして実施します。

◆ケニアにおける療育活動

講師：公文和子氏 (医師、シロアムの園代表)

エリザベス・ムンガイ氏 (特別支援教師)

7月12日(金) 18:30-20:30 大阪聖パウロ教会2階(大阪市北区)

7月20日(土) 15:00-17:00 AVACO会議室 (東京都新宿区)

◆バングラデシュにおける障がい児・者支援

講師：岩本直美ワーカー、森数美氏 (精神科医)

9月6日(金) 18:30-20:30 早稲田奉仕園 (東京都新宿区)

詳細はJOCSのホームページをご覧ください。お問い合わせは東京事務局・松浦まで。E-mail：seminar@jocs.or.jp

2019年度 計画及び収支予算

2019年度も、ワーカー派遣、奨学金事業、協働プロジェクトを3本の柱として活動していきます。これからも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【海外派遣】雨宮春子ワーカーは、4月に活動地であるタボラへ赴任し、母子保健活動を開始しました。岩本直美ワーカーはバン格拉デシユでの6期目の活動を終えて夏に帰国し、各地で活動報告会をおこないます。

【奨学金】現在支援中の6カ国47名の奨学生に加え、今年度採用する奨学生を支援します。職員がウガンダを訪問し、モニタリングを実施する予定です。

【協働プロジェクト】カンボジアのSALTプロジェクトは最終年に入りました。秋に終了時評価を実施します。ケニアのシロアムプロジェクトは4年目に入りました。今年度も人材の育成と能力強化に力を入れ、療育分野などの専門家派遣をおこないます。昨年度から開始した

タンザニアのママ・ナ・ムトプロジェクトは、今までに収集した母子保健のデータ分析を進め、今後具体的に活動を進めていきます。

【国内活動】使用済み切手運動のほか、新規支援者を増やすため、イベントや、ワーカー帰国報告会、職員による教会訪問、キリスト教書店での活動紹介などをおこなっていきます。

2020年度に迎える創立60周年事業の準備にも取り掛かります。

【収支について】JOCSSは長年厳しい財政状況が続いていましたが、皆様のお支えにより、2018度は活動に必要な収益を得ることができました。2019年度はさらに多くの人々に健康を届けられるよう、会費、寄付の増加を目指します。皆様のご支援をお願いいたします。

JOCSSのホームページ上で2018年度事業報告・会計報告書、2019年度事業計画・予算書をご覧いただけます。ご希望の方には郵送いたしますので事務局までお申し付けください。

【2019年度収支予算 一般正味財産増減の部】

1 経常収益	計1億4,598万円		
①受取会費	2,770万円	・退職給付費	355万円
②事業収益 (使用済み切手収益を含む)	2,438万円	・事務所費	414万円
③受取寄付金 (指定寄付金振替額を含む)	9,327万円	・事務用品費	220万円
④特定資産運用益	46万円	・その他 (減価償却費、租税公課、研修費等)	1,289万円
⑤雑収益他	17万円	②管理費	2,729万円
2 経常費用	計1億5,740万円	・人件費	1,498万円
①事業費	1億3,011万円	・事務所費	104万円
・海外派遣	1,117万円	・会議費 (理事会・総会)	221万円
・奨学金	717万円	・支払手数料	430万円
・協働プロジェクト	612万円	・その他 (事務用品費・通信費・交通費等)	476万円
・海外出張費	233万円	当期経常増減額	△1,142万円
・国内活動費	1,660万円	(1万円未満四捨五入、△はマイナスを表す)	
・災害救援復興費	61万円	受取会費・受取一般寄付金の按分について	
・募金・寄付経費	390万円	受取会費、受取一般寄付金は8:2に按分し、8割を公益	
・人件費	5,943万円	目的事業、2割を法人運営の管理費として使います。	

東京事務局 新任スタッフ紹介



滝澤 さおり

今から十数年前、ネパールのある村を訪問した時のこと、日本の学校名が入った運動着を着た子どもたちと出会った時の驚き。そこには日本の支援で建てられた学校があり、それは私たちが「国際協力」を初めて目の当たりにした瞬間でした。数年前には、短い期間でしたがJOCSSで切手ボランティアを経験、今年度より事務局に勤めることとなり、神様の不思議な導きを覚えます。

JOCSSの活動には、JOCSSに関わる多くの方々への熱い思い、深い愛が根底に流れていることを実感しています。私たちが動くところに働かれる神様の業に期待して、この場にかかわらせてくださったことに感謝し、皆様の思いに心をあわせてつかえていきたいと思ひます。

地区JOCsから

強くしてくださる方があり、感謝でした。

●仙台JOCs 使用済み切手を整理するボランティア活動

「きつてぎつぺ」に参加してみませんか？毎月第2土曜日の14時から、広瀬通りの市民活動サポーターセンターで実施中です。お気軽にお立ち寄りください。

●足利JOCs 今年も12月に足利市内でクリスマススイベントの開催を予定しています。今回もお子様から大人の方まで多くの方に楽しんでもらえるようにスタンプで話し合いを重ねていきます。どうぞご期待ください。

●町田JOCs 『みんなで生きる』2019年4・5月号に掲載された「2018年使用済み切手運動報告」にとても励まされました。使用済み切手活動をずっとおこなっているカトリック町田教会で、ミサ後のお知らせの時間にこの報告文を教会員の皆様の前で読みました。「使用済み切手がどのようにして現金化されJOCsの活動資金になっているかよくわかった」と、活動への協力の思いを

●京都JOCs 4月6日(土)に第15回チャリティーウォーク

ソンを京都・鴨川の河川敷で行いました。今年は天気に恵まれ、桜も満開で良いイベントとなりました。7月26日(金)に第41回京都JOCsチャリティーコンサートを京都府民ホールアルティでおこないます。今年は「グラン・シャンス」(テノールとピアノ)のコンサートです。ぜひお越しください。

●大阪JOCs 秋に予定されている岩本直美ワーカーの報告会期間に、大阪JOCs主催で「JOCsカフェ」を開催することになりました。久しぶりのカフェです。日程は未定ですが、ぜひご参加ください。詳細はまたお知らせいたします。

●芦屋JOCs 11月9日(土)に芦屋JOCs設立40周年記念イベントをカトリック芦屋教会で開催する予定です。「バンダラデシュを味わおう(仮)」というテーマで、バンダラデシュをいろいろ側面から知ろうという企画です。当日はバンダラ

●神戸JOCs 3月16日(土)に日本キリスト改革派教会神戸教会にて山内章子ワーカーの報告会を開催しました。また併せて、神戸教会オルガンリストの平田真理さんのパイプオルガンコンサートもおこない、50名の方々がご来場くださいました。10月12日(土)には神戸JOCs設立40周年記念イベントを同じく神戸教会で開催予定です。詳細は後日お知らせします。

●四国高知JOCs 3月23日(土)に高知県中村市の日本キリスト教団中村栄光教会にて、また翌日の24日(日)は高知市内の日本キリスト教団高知教会にて山内ワーカーの報告会をおこない、それぞれ8名、40名の方々がご参加くださいました。9月には岩本直美ワーカーの報告会を予定していて、7月の例会で打ち合わせをする予定です。

お問い合わせはJOCsの各事務局へ
東京事務局へ…仙台足利町田JOCs
関西事務局へ…京都大阪芦屋神戸・
四国高知JOCs
(電話番号は下欄をご覧ください)

事務局便り

育児休職を経て事務局に戻ってきました。「今は大変だと思うけど、子育てはあつという間だから頑張ってるね。」など、久しぶりにお会いするボランティアさんや会員の方々にあたたかい言葉をかけていただき、JOCsに携わる方々のあたたかさに改めて触れ、感謝しています。今後もJOCsの働きを通して与えられる、国内外の支援者の皆様と、また海外の奨学生やパートナー団体のスタッフとのつながり、一つひとつを大切にしながら、感謝を忘れずに歩んでいきたいです。(森田真実子)

公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 http://www.jocs.or.jp

■東京事務局 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-51
電話:03-3208-2416 FAX:03-3232-6922
(受付時間:平日9時~17時)

■関西事務局 〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30
電話:06-6359-7277 FAX:06-6359-7278
(受付時間:平日9時30分~17時30分)

■E-mail info@jocs.or.jp

■編集発行人 代表者 畑野研太郎

■編集長 森田隆 (JOCs事務局長)

■イラスト 柏木牧子

■誌代 1部300円(送料込)

JOCs会員は会費の中に本誌購読料が含まれています。また年間1万円以上(購読料含む)の寄付をしてくださった方にお送りします。

■郵便振替口座番号 00170-1-20920